

花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドキドキ国立てくてく

国立第七小学校 平成25年6月24日 NO.24



カラスウリ

花ちゃん 「ねえねえ、オー君。上の写真は、わたしがデジカメでとったのよ。」

オー君 「へえー。花ちゃん、デジカメ上手だね。ところで、これは何かの花みたいだけど、何ですか。糸みたいのがついているよ。」

花ちゃん 「これは、カラスウリと言ってね、花びらの先が糸のようにのびて、まるでレースのカーテンみたいで、私のお気に入りのお花なの。」

オー君 「へえー。カラスウリっていうのか。なーるほど。あ！ちょいとまてよ。カラスウリって、どっかで聞いたことあるよ。何て言う歌だったかな。」

花ちゃん 「それはね、『まっかな秋』という歌でしょ。」

♪まっかだな まっかだな からすうりって まっかだな
とんぼのせなかも まっかだな 夕焼雲(ゆうやけぐも)を ゆびさして
まっかなほっぺたの 君と僕 まっかな 秋によびかけている♪ (2番より)

オー君 「あ！思い出した！真っ赤な実なんだ。」

花ちゃん 「カラスウリって、花の時と実で二度楽しめるのね。」

モンタ博士「カラスウリの実といえば、モンタ博士もデジカメでとってあるから見てよ。」

オー君 「左は真っ赤なカラスウリの実だ。」

花ちゃん 「右の黒いのは種ですね。」

モンタ博士「そうだよ。カラスウリの種が黒いの
で、そこから名前がついたと言われ
ているんだ。種の形がカマキリの頭
みたいなんだ。それから、うちの



小槌（こづち）みたいで、さいふに入れておくと、お金持ちになれるという
ことで、モンタ博士も入れてみたけど・・・。」

花ちゃん 「どうだったんですか。」

モンタ博士「鳥の名前と同じだよ。」

オー君 「鳥の名前と同じ？どういうことですか。」

モンタ博士「それはね、『シジューカラ』（始終空）ということだよ。」

オー君 「なーるほど。ところで、まん中のちょっと黄色いのはなんだろう。」

モンタ博士「それはね、種についている果肉（かにく）と呼ばれるものなんだ。何だか食
べられそうなので、食べたことあるけど、とてもにがかったね。でも鳥には
にがくなくて、鳥がよくつついているというから不思議だね。」

花ちゃん 「それから、オー君！カラスウリの花は夜咲くのよ。」

オー君 「それで、白い色をしているんだね。白ければ夜でも目立つもんな。」

花ちゃん 「それから、においもほのかにするのよ。」

オー君 「つまり、それは、スズメガなどの虫にとっては、都合（づごう）がいいんだ
ね。それで、花ちゃん。カラスウリというのは、どこに咲いているの。」

花ちゃん 「学校のすぐ近く。谷保駅の東100mくらいのところ。線路わきのフェンス
のところにいっぱい咲いているわ。ぜひ、見に行ってね。」 MAP↓

オー君 「それじゃ、おいら行ってきまーす。」

花ちゃん 「あ！行っちゃった。カラスウリの花が
咲くのは、夜なのに・・・。
あわてんぼうのオー君ね。」

